

立命館経済學

第二十七卷 第二号

昭和五十三年六月

内 容

論 説

- 景気循環における新旧技術の導入と廃棄について……北 野 正 一 1
産業資本主義段階における
近代的独占の存在形態(五・完)……若 林 洋 夫 25

研 究

- 訓練付一時帰休の経済的基盤と諸結果……三 富 紀 敬 92

資 料

- 日本資本主義確立期の資本の存在形態(六)……後 藤 靖 149

紹 介

- スティヴン ルークス『社会科学における
KEY CONCEPT としての個人主義』……小 野 進 214
共同研究室…… 250

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第二十六巻・第六号

論 説

外国貿易の必然性再考……………岩田勝雄

三月前期のロイセンにおける

「社会問題」と社会政策および

中間層政策の展開(一)……………川本和良

研 究

独占段階の過剰資本……………山本幹夫

財政危機下の総需要抑制策と

景気浮揚策に関する一考察……………東郷久

独占価格の実態と方法論的諸問題……………佐々木秀太

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第二十七巻・第一号

論 説

経済学史の意義とその方法(一)……………上野俊樹

産業資本主義段階における

近代的独占の存在形態(四)……………若林洋夫

——北東イングランド石炭独占の歴史的性格——

スタグフレーション

分析に関する一試論……………河野快晴

——OECDマクラッケン・

グループ報告によせて——松川周二

資 料

日本資本主義

確立期の資本の存在形態(五)……………後藤靖

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会